

# 11 期再発見！何でも見てやろう

## 京都原谷苑 1・2班合同

4月11日（火）・20日（木）



「しだれ桜のジャングル」とも表現されるほど、圧倒的な桜の美しさに浸ることができる、京都の「原谷苑」。しかし、原谷苑はそもそも個人が所有している土地ですので、常に一般公開されている場所ではなく、桜や紅葉のシーズンのみ一般に公開されます。原谷苑の広さは、なんと 4,000 坪で、とても広大な敷地になります。苑内には、ソメイヨシノ・シダレザクラ、ベニシダレザクラなど、約 20 種 400 本の桜が植えられています。樹齢 60 年をこえるベニシダレザクラにおいては、日本一

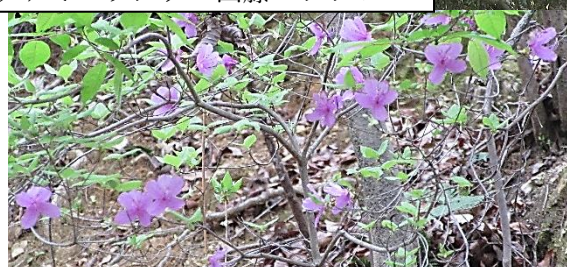
とも言われるほどの数になります。数にすると 200 本以上とされています。鑑賞することができるのです。原谷苑は、その昔、この地を開拓した花好きの村岩 2 代目が、この景色を作り出したと言われています。原谷苑の中でも、景色のいい丘を選び、数百本の桜や紅葉、数十種類の樹木を植えて、育ててきたと言われています。最初は桃や栗、そして柿などの果樹木も植えたようですが、果樹木は育つことなく、桜の種類のみ大きく育っていったそうです。こんなにも立派な苑にするのは、さぞ大変なご苦労と花や木々への愛情の深さがうかがえます。最初は、身内のみでお花見していたのが、やはりこれだけの景色になると、どんどん評判が広がり、一般の人にも開放して頂けるようになったのです。



嵐電大宮～御室・仁和寺からの出発！登りの山道です。すれ違うのは軽トラ、乗用車のみです。1時間ほどで原谷苑に到着した新緑の若葉、ウワミズザクラ、山藤、スマレ、山桜さくハイキングでした。



ウワミズザクラ・山藤・ツツジ



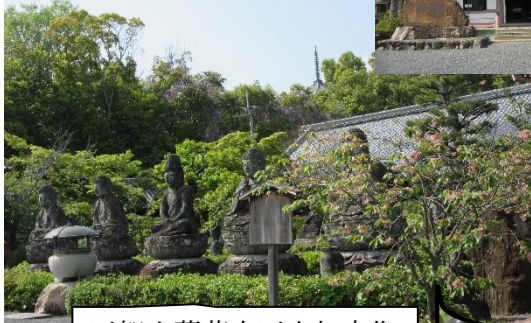


原谷苑新緑若葉に囲まれて昼食です。



ツツジ・オドリコソウ・シャクナゲ





五智山蓮華寺五大如来像



御室桜・御衣黄桜

